

那須塩原市子ども・子育て会議第10回会議における議題とその検討結果について

○議題

(1) 那須塩原市保育園整備計画（後期計画）の見直しについて【資料1】

◆議題の概要

- ・ 那須塩原市子ども・子育て未来プランの計画終了年度に合わせて、那須塩原市保育園整備計画（後期計画）も平成31年度まで延長することとしたい。
- ・ 保育園整備計画（後期計画）で当初想定していた500人の定員拡大はおおむね達成できる見込みであるものの、特に旧西那須野地区における入園待ち児童が解消されていないことから、平成31年度までに西那須野地区を中心に更に200人の定員拡大を目標とする。
- ・ 整備等に向けた施策については、平成27年4月1日から施行されて子ども・子育て支援新制度を踏まえて見直すとともに、現状において課題となっている事業を改めて整理する。

◆委員からの主な意見

- ・ 保育所や認定こども園の整備に合わせて、保育士の確保も考えていかなければならない。
- ・ 0、1、2歳児の入園待ち児童の解消については、家庭的保育事業等（19人以下の保育事業）の活用も有効であると考える。
- ・ 0、1歳児の入園待ち児童が多い現状があるが、2、3歳児に希望の保育所や幼稚園に入ることができなくなることを懸念して、0、1歳児から入園を申し込む保護者がいるのではないか。（そのため、市における2、3歳児の入園申込の枠も狭まっているように感じる。）
- ・ 家庭で子どもを育てたくとも経済的な理由から、子どもが小さいうちから保育所に預けている現状があるように感じる。
- ・ 保育士不足解消のために潜在保育士の掘り起しを行う必要があるが、なぜ潜在保育士となってしまったのかという原因究明が必要である。
- ・ 公立保育園における正職員の比率が少ないのも問題であるが、正職員と同じように仕事をしている臨時職員の現在の待遇も問題である。
- ・ 家庭的保育事業等については、0－2歳児を対象とした事業であるため、3歳児以降には他の保育所や認定こども園などへの転園が必要になる。しかしながら、3歳児以降の受け皿が確保されていないため、市においてしっかりと確保すべきである。

○その他

◆子育て応援券事業の実施状況について【資料2】

- ◎平成27年7月から配布を開始した子育て応援券について、9月までの配付額は約5,900万円で、利用額は約1,300万円である。
- ◎多く利用されている事業は、チャイルドシート及びベビーカーの購入、読み聞かせ絵本の購入、任意の予防接種である。

◆平成27年度当初予算の概要について【追加配付資料】

- ◎市の一般会計当初予算総額約450億円のうち、子ども未来部の予算は約68億円である。

◆今後の子ども・子育て会議のスケジュールについて

- ◎次回の子ども・子育て会議は、平成28年1月中旬を目途に行う。
- ◎次回以降の会議の議題は次のように考えている。
 - ・保育園整備計画（後期計画）の最終案について
 - ・放課後児童クラブ整備計画の進捗状況について
 - ・発達支援システムの構築について
 - ・平成28年度における保育園、認定こども園の利用定員の設定について
 - ・その他

◆その他委員からの意見

- ・子どもの貧困も大きな問題である。保育所では、所得の状況によって、保育料が決まっているが、放課後児童クラブの利用料は一律であり、現在のところ減免制度がない。そのため、利用したくとも利用が出来ない世帯が出てきている。